

資格の大原 宅建士講座 合格体験談



静岡銀行グループ
静銀モーゲージサービス株式会社
ローンサポート本部 担当部長
兼 ローン業務部 副センター長

名倉 恵子

2018年受験対策 完全合格週2コース受講
2018年度の宅建士試験でみごと合格を果たす

宅建士取得の動機

私が宅建士を受験しようと思ったのは今から10年前のことです。仕事は不動産業ではありませんが、宅建士の勉強は業務に絶対役に立つ仕事でした。職場でいろいろな通信講座を紹介されるのですが、その時は宅建士のテキストを購入し少し勉強をしましたが、結局、中途半端になってしまいました。

2017年1月に転勤した部署では、若手社員は全員、宅建士の資格を取ることが必須でした。ちょうど良い機会でしたので私も再びチャレンジしてみようと思い某通信講座に申し込み受講しました。しかし結局、試験を受ける準備ができたとはとても言えない状況での受験でした。



学習方法の選択

そのため2度目となる宅建士試験に向けて、社会人として効率良く、且つ、自分に合った学習方法を選択する必要がありました。私の性格はスイッチが入れば頑張れるのですが、一人でコツコツやるタイプではありません。さらに普段の仕事は神経を使うため家に帰ればあったかい布団の誘惑が強く、また、考え事をする時はいつも喫茶店を利用する習慣があるなど家にこもって勉強をするタイプでもありません。同じ自己投資をするにしても自分自身を集中できる場所におき、嫌でも勉強をする環境が必要だと判断し、自分の性格に合うベストな方法として学校に通い勉強することを選択しました。

2018年2月、資格の大原の宅建士講座のパンフレットを取り寄せました。早速、内容を確認し電話で問い合わせをしました。その当時の職場から歩いて通える場所に浜松校があり、火曜日と金曜日の18時30分から授業があるとのことでした。丁度、前の転勤から1年が経過した頃で、少なくとも宅建士の本試験までは転勤もないだろうと考え、学校に受講相談のためアポなしで伺いました。

突然の訪問にも関わらずタイミング良く先生とお話できました。校舎内は専門学校の生徒さんがたくさんいる時間帯でしたので、少し恥ずかしい気持ちもありました。しかし同じ目標を持った人達と勉強することでモチベーションアップになることや教室や自習室を見学させてもらうことで学生時代を思い出すなど、私にとってはとても新鮮な空間でした。

但し、その時はすぐに申込はしませんでした。多少迷いがあったからです。その日は開講日を確認し、その後、自分の中で一つの決断をしました。それは13年間続けてきたボランティア活動を3月一杯で卒業し、今回は自分の勉強のために時間を使おうということです。

一緒に活動していたメンバーに「私、本気で勉強して宅建士に合格したいから大原に通うことにした。(ボランティア活動の)卒業でみんながお疲れ様会をやってくれるというのは本当にありがたいけど、宅建士に合格したらお祝いして欲しい」と告げることで自分にプレッシャーをかけました。そして、2018年3月下旬、講座受講の申込手続きをしました。

4月の講座の開講当初は、過去に勉強したことが頭に残っていたため、比較的わかりが良く、これなら大丈夫とっていました。(教室に掲示してある)『宅建士試験まであと〇〇〇日』と書かれているものを見てもまだ日にちはある・・と安心していました。そのため、『トレーニング問題集は極力繰り返し解き、指定された時期までに〇回やっておくこと』という指導からは非常に遅れていました。そして6月も後半を迎えました。



突然の転勤辞令！ そして転校！

そんなある日、職場から転勤を命じられました。新しい勤務場所は静岡市となり、今まで1時間だった通勤時間は1時間30分に、もし、電車の乗り継ぎが悪ければ2時間かかることになりました。

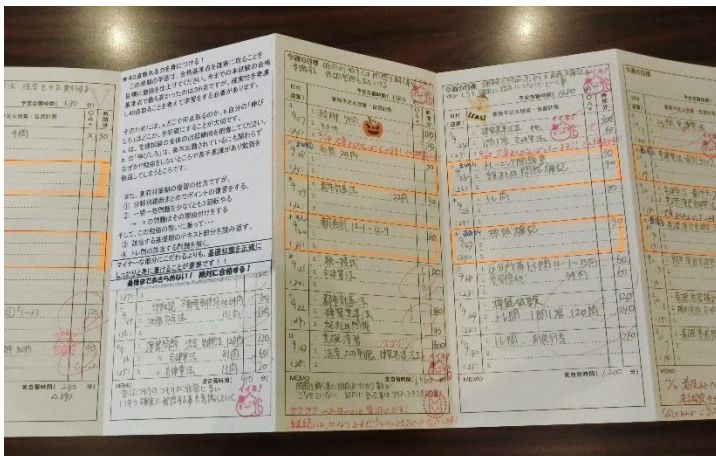
今まで大原浜松校で勉強していたので、新しい勤務先となる静岡から学校がある浜松まで通学しなければならないとすると授業の開始時刻には完全に間に合いません。大原に入学した時にしばらく転校はないと思っていましたので転勤の辞令を聞いてすぐに浜松校の先生に相談させていただきました。まさか社会人になって転校生になるとは思ってもみませんでした(笑)。

浜松校の先生からは「静岡校の先生はとても良い先生で、私からもよく伝えておくから」と言っていただき一安心しました。ただ、静岡市内の地理は詳しくなく、大原の静岡校の場所もよくわからず不安だったため、事前に転校手続きだけのために静鉄電車に初めて乗り、校舎見学をさせていただきました。その時に教室も確認でき翌日から静岡校デビューをしました。(ちなみに浜松校の先生からは転校後も勉強の状況について気にかけて頂き、メールを送って下さるなど感謝しております。)

静岡校初日の授業では、『みんないつも座る席が決まっているのでは？もし、そこに私が座ってしまったら今まで座っていた人が困るのでは？』と考えなくてもよい余計な事まで気にして少しだけ早めに学校に到着。先に教室にいた受講者の方に「いつも空いている席はどこでしょう？」と聞いて自分の席を確保しました。(意外と気にするタイプです。笑)

転校して気づいたことは、多くの受講生が大原式『一発合格シート』を活用し自分が何をどれくらい勉強したかを記録に残しているという事です。私も早速やってみました。石田先生がまめにコメントを書いてくださり、時にはシールを貼ってくれるなど、職場ではいつも私自身が励ます役であったため、逆に励まされることがとても嬉しく感じました。

しかし頑張ろうという気持ちはあったものの毎日きちんと勉強時間を確保することは難しかったです。朝は6時前に家を出て、家には一番早くても19時に到着。大原の日は23時に帰宅。普段の通勤電車での時間は1時間あるため勉強時間をうまく取れると考えていたのですが、出張を含めた業務変更、転勤に伴う通勤時間の増加などで、通勤電車ではいつの間にか寝てしまい、合格シートに自分の決めた勉強時間を記入出来なかった日がたくさんありました。



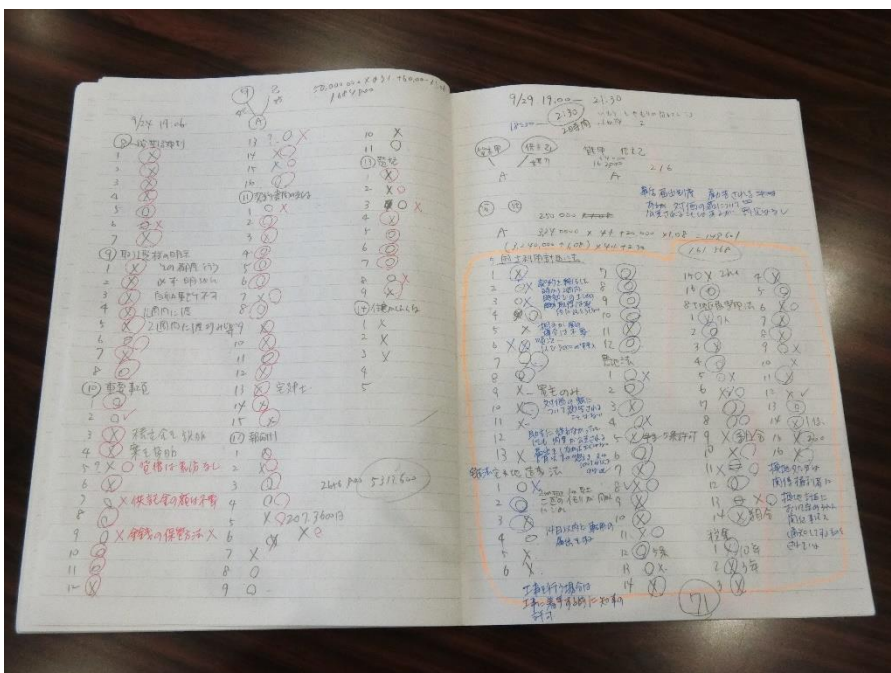
『直前対策期』突入！ 『本気』になったら……！

8月に入りお盆の時期は講座も1週間の休み。このままではいけないと思い、少しずつ勉強時間を増やす努力をしました。講座は『直前対策期』の基礎演習が始まり、授業では問題を解いた後、二人組となり答え合わせをする機会があり、その時、さらに勉強している人と自分との差が明らかになりました。私は、この二人組での確認作業がなかったら、本当のスイッチが入らなかったかもしれません。仕事が終わらず授業も遅れて出席したことも多々あり、帰りは新幹線の時間に合わせて走って帰ったりするなどしていたため教室にいても他の人達と情報交換がなかったのですが、この学習法で少しずつ他の受講生の人たちとの会話が増えがंबろうと思いました。

さらに石田先生からは、毎年、合格祝賀会を開催している旨の話を聞き、私もその祝賀会に絶対参加したいと強く思いました。それからは勉強する場所を何ヶ所か選び、学校がない日は家にまっすぐ帰らず、19時に電車を降りれば(喫茶店の)K店、20時以降になれば(ファミレスの)D店と、お店の人からは「いつもの席が空いていますよ」とか「常連さんお見えです」と言われるまでになりました。特に土日には長い時間、同じ席にすることもあり、少しでも客単価上げないと悪いよなあって考えたこともありました。(笑)

また、勉強を始める時には必ず家族にLINEしてお互いに頑張るぞというアピールをしました。二人の娘は大学生でやはり資格を取るために勉強に励んでいます。親子で取得したい資格は違っても同じ時間帯に勉強をすることでお互い励まし合って頑張れました。

月日が経ち9月も半ば、さらに自分に厳しく遅れを取り戻すため基礎問題集を繰り返し解きましたが2回受けた模擬テストの結果は合格点に程遠く、石田先生にはメールで質問することも増えました。時々深入りしないように……というアドバイスもいただきながら気持ちのケアもさりげなくしていただきました。

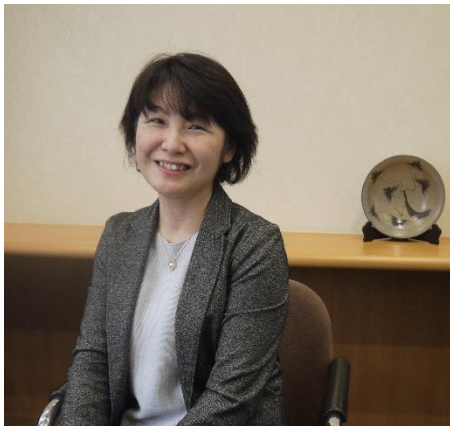


学校の日は翌日の通勤時間短縮のため、ビジネスホテルに泊まることも選択肢に入れ、いかに自分の体を楽に保つか、勉強を少しでも楽しめるような工夫もしました。

仕事は9月決算で業務量も半端ないことはもちろん、自分がコントロールして仕事を切り上げることができる状況には当然なく、残り少なくなった授業の日には職場のメンバーに甘えさせてもらいました。

9月に入り、最終土曜日に職場主催の模擬試験を受けました。しかし、結果はボロボロ。合格圏内に入るにはまだまだ程遠かったのですが、自分に負けまいととにかく地道に勉強は続けました。そして10月初め……自分が頑張ろうと思えば思うほどいろいろなことが起こりました。静岡西部地区は台風の被害が大きく、我が家は停電で約3日間電気は不通となりました。家に帰っても電気はつかず勉強する事が出来ないと嘆いていたら主人がビジネスホテルに泊まるよう言ってくれ、無事勉強時間の確保ができました。

また、半年に一度行う会議資料の作成、遠方への出張、その他思いがけない事象が重なり、いかに自分の時間を効率よく使うかを試された気がしました。しかし、家族の協力、職場のメンバーの励まし、大原の石田先生のご指導により試験前日まであきらめずに何とか頑張れました。



本試験、そして、その後

そして試験当日、最終確認のため気分よくいつものK店でモーニングを取りながら行い、その会計の際、店員さんからは「試験がんばってくださいね」と送り出してくれました。試験会場には、昨年も経験しているため落ち着いて余裕のある時間に席に着く事ができました。そして今までの成果がきちんと発揮できることをイメージして試験に臨みました。

試験の2時間はとても短く感じられ、時間が足りないくらいでした。最後の見直しの時に1問直そうかそのままにしようかと悩みました。この1問が違ってダメだったらと思うと簡単に消すことができず、残り1分くらいで修正しました。マークシートのチェックを消し、再度マークをつけること、たったそれだけなのに手が震えました。

やるだけやったという達成感と開放感を感じながらの帰り道、同じ試験を受けた人達が、丁度一年前に自分が思っていたことを話していました。「テキストは準備していたけどいつの間にか8月になって。お盆休みから頑張ればいいやって思っていたらどンドン日数が経ち、結局満足いく勉強ができなかった」と。私も同じだったなあ、でも今年はちょっとだけ違うと思えたことだけでも大きな成果でした。

解答速報がでしたが、簡単に答え合わせをすることができませんでした。今まで頑張ってきた分、結果が怖かったです。答え合わせは2日後に思い切ってやることにしました。丸を数えながら手が震え、合格圏内であることを祈りました。ほぼ大丈夫だと思った瞬間、思わず声を出して泣いていました。いろいろな試験を受けてきましたがここまで込み上げてくることはありませんでした。自分で言うのも恥ずかしいのですが本当に頑張ってきたからこそだと思います。

泣いていたので主人は、私がダメだったと思ったらしく、聞こえないふりをしていてくれました。翌朝主人に、「結果は合格証書が来ないとわからないけれどたぶん大丈夫だと思う。泣いていたのは知っていたよね？」と言ったら「紛らわしい、気を使って損した」と一言。

そして、12月5日9時30分スマホで自分の受験番号を探し、その後、職場の人事担当者ともチェックし合格を確認。翌日に家に届いた合格証書を見て合格を実感しました。いろいろな事があった半年間でしたが、家族や多くの人達に支えられて40代の社会人学生として楽しく大原で勉強ができたこと、本当に感謝しています。

また、クラスの中で一番心配だった生徒だと思いますが、どんな時にもポイントを押さえた指導で確実に導いてくださった石田先生に対し「本気になったから大原を選んで良かった」と感謝の気持ちで一杯です。今後、宅建を受験しようと思う社会人学生の皆さん、「本気になったら大原!!!」と宣言して勉強したら大丈夫です。応援しています！



資格の大原静岡校受付前にて 右側は石田俊一講師

今後、益々の名倉さんのご活躍を祈念しております。本当におめでとうございます！



2018年12月8日(土) 資格の大原 静岡校・沼津校 合同祝賀会にて